

連合長崎第22回定期大会

「希望と安心社会」実現に向け、
「組織拡大・連帯活動強化」「2011春闘勝利」「政策制度実現」
「平和・人権・福祉運動の更なる前進」「第17回統一自治体選挙完全勝利」
の連合長崎運動方針を確認！



2011年度運動方針を決定し、小石会長の音頭で団結ガンバローを行い閉会した「連合長崎第22回定期大会」
=10月21日（木）ロワジュールホテル

すべての働く者の連帯で、希望と安心の社会を築こう！

〈会長あいさつ〉



連合長崎は、本年5月、結成20周年を迎えました。「顔合わせ」から始まった運動は、先輩諸氏そして皆様の献身的な取り組みもあって着実にその歩を刻んできています。

本定期大会は、20年という歴史の上にとって、これから30年、40年へ向けて新たな発展を遂げるべくそのスタートとして組織そして運動を再構築すべく重要な定期大会と認識いたします。私に与えられた時間の中で大きく4点に絞り申し上げさせて頂きたいと思

っております。

まず一点目は、政治関係であります。2月の県知事選挙、7月の参議院選挙結果は残念なものでありましたが、その中で皆様方には大変なご尽力を頂いたことにまず敬意とお礼を申し上げます。

さて、昨年8月30日の総選挙、「無血革命」と言って良いほどの激変と高揚感の中で新たな国づくり、社会づくりへ踏み出してから約1年、政権交代成つたればこそその評価部分もあるものの、自民党の負の遺産と世論という虚構と現実の中で厳しい対応を余儀なくされています。

今回の政権交代、良く明治維新と比較されます。

時代背景やスピード感は当時とでは大きな違いはあ

りますが、明治以降營々と築かれてきた日本の保守政治、官僚政治の膿、残滓を取り去り、新たな政治体制を構築することが如何に難しいことかと捉えることも必要であろうかと思っております。

昨年も申し上げましたが、民主党政権は、既にこれまでの自民党政治によって厚く塗られているキャンバスに向かって、新たなものを描くという極めて困難な作業に取り組んでいます。自民党政治のツケは、普天間・尖閣の外交問題から年金、格差、貧困等々内政問題まで全てと言っても良い程です。過去を消し、思い通り行うことの難しさは革命かあるいは余程の独裁国家でない限り多くの国、組織においても大なり小なりあり得ることだと認識した方が良いと思います。

しかしながら、当然に「政権交代」が最終着地点でなく、政権交代によって国民に何を齎すのかが重要であると思っております。国民にこの国の在り様、進むべき道等のどっしりとした骨格・方針を示し、スピード感を持って果敢に挑戦することが求められているのであります。決して自民党政治への回帰を許してはなりません。そのことを強く訴えたいと思っております。そして同時に、尖閣問題を機に頭をもたげ始めている偏狭ナショナリズムの台頭を決して許してはなりません。私どもはこれから限られた、しかも偏った情報に基づくのではなく、複眼的視点が必要であると申し上げておきたいと思っております。

選挙についてもう一点は、明年4月の統一自治体選挙についてであります。

今年の選挙戦を通じて我々の基盤の弱さをいやと言うほど痛感をさせられました。我々の組織において集票力、行動力の低下を認識せざるを得ません。

その意味で明年の統一自治体選挙は、地域における勢力基盤の拡大という観点と合わせ、これから進んでいくであろう地方分権の観点、要は国から下りてくるお金と権限を誰が主体性を持って活用するのかということから見ても地方段階での勢力の伸張は大変重要であるということでもあります。

戦いは厳しいものが想定されますが、組織内候補の完全勝利はもとより、推薦候補の必勝へ向けて全力を傾注してまいりたいと思っております。

二つ目の課題は、2011年春季生活闘争について申し上げます。

具体的な方針は明年春の地方委員会で提起させて頂きますが、マクロ的に申し上げますと今日の経済情勢は、デフレの進行、円高・株安など景気は鈍化傾向を強めており、企業業績の見通しも不透明になってきているのも事実であります。

このような状況下、GDPの約6割を占める家計消費支出を増大させ、持続可能な成長を成し遂げると共に、市場原理主義の下、企業の短期利益追求の犠牲とも言えるような形でこの間痛んだ非正規労働者の雇用と生活の安定をめざし、健全な環境を作る必要があります、その大きな視点変更が、2011年春季生活闘争での非正規労働者の賃上げ要求が優先提起であろうと思っております。

就業者の8割が賃金を得て生活をしているこの日本においては、労働運動が果たさなければならぬ役割と責任は極めて大きいものがあることを訴えさせていただきます。

三点目の提起は、組織拡大・強化についてでございます。

組織拡大が喫緊の課題であることは、全体で共有できるものと認識いたします。非正規労働者が急増し、その労働環境は極めて厳しい状況にある中でそこに手を差し伸べ、そして我々の輪の中に入って頂くことが重要になってきています。

このような危機意識を含め、どうしても企業内運動に埋没しがちな運動からウイングをより広げつつ社会に幅広く訴える運動が求められていることを強く訴えるものでございます。

更に、組織強化の観点から一点述べると、次世代リーダー・活動家の育成でございます。連合長崎の今日の状況は先人の遺産を食い尽くしながら何とかやってきたようにも思っています。これから更に連合長崎が発展し続けるためにはリーダーの育成・活動家の育成は重要な課題であると認識をしています。

労働運動の原点は職場生産点にあります。徹底した職場オルグ活動の展開と規律の重視、合わせて各産別においても目的意識を持つての人材の育成に取り組んでいただくように要請するものでございます。

四点目は、核兵器廃絶、平和運動でございます。

私たちは、これまで原水禁、核禁会議の皆さんと共に被爆地から全国へそして世界へ核兵器廃絶を訴えてまいりましたが、先日のアメリカの臨海前核実験、インドとの原子力協定締結の動きなど懸念材料はあるものの、今年5月のNPT再検討会議の最終合意やあるいは、パンキムン国連事務総長来崎・メッセージの発信等被爆後65年にして少しは期待がもてる状況ができています。

やっとな国内の核兵器廃絶運動と国際政治が近づいてきたように感じます。これから広島・長崎がこれまで以上に国際社会の中で注目される存在になっていくということを認識しつつ、私どもは今まで以上に取り組

みの強化が求められています。

課題の最後に、私たち働く仲間の組織であるUNIグローバルユニオンの世界大会が11月9日から当地長崎市で開催されます。

UNI結成10周年という記念すべき大会がこの長崎で開催されることの意味を含めおおいに歓迎すると同時に、その成功に向けて当該の産別は無論、連合長崎と

しても最大限の協力をしていきたいと思っています。

挨拶の最後として一言申し上げると、この1年間あるいは2年間、選挙に忙殺されたこともあって十分できていない運動課題も多々あると認識しています。本日は皆さん方の忌憚のない意見を頂きながら向こう2年間の確固たる運動方針を決定して頂きますよう改めてお願いします。



連合長崎第22回定期大会は10月21日（木）長崎市のロワジールホテルにおいて代議員172名、特別女性・地方代議員18名、執行部25名の参加で開催された。

大会は13時30分に江口副会長の開会あいさつに始まり、議長団に電力総連・堀江代議員、日教組・山下代議員、交通労連・下嶽代議員を選出し議事が進められた。

はじめに小石隆連合長崎会長があいさつを行い、連合本部・松永裕彦組織対策局長、中村法道長崎県知事、上村修治長崎県労働基準部長、田上富久長崎市長、民主党長崎県連橋本希俊副代表、社民党長崎県連合吉村庄二代表から激励のあいさつを受け、第9回フォトコンテスト最優秀賞の西中須盈さん（自治労・全国一般）の表彰を行ったあと、一般経過報告を森事務局長が行い、特別報告として、2010春

季生活闘争総括を佐竹副事務局長、2010年度選挙闘争総括及び2010年度会計報告を谷頭副事務局長、会計監査報告を太田監査委員が報告し、満場の拍手をもって全会一致で承認された。

その後、第1号議案2011年度運動方針（案）を森事務局長が提案し、第2号議案2011年度予算（案）、第3号議案2011年度統一自治体選挙の取り組み（案）について谷頭副事務局長が提案した。

質疑討論では、自治労全国一般黒崎代議員（①サポートセンターの労働相談について②地域ユニオンの結成について）と全駐労吉田代議員（①UNI世界大会について）から質疑が行われた。

第1号議案から第3号議案の質疑討論が行われた後、第1号議案から第3号議案まで、それぞれ全会一致で承認された。

その後、第4号議案連合長崎役員の選出（案）について江口役員推薦委員長から提案が行われた。新役員の信任は挙手によることを宮本選挙管理委員長が提案し、信任挙手が行われ新役員全員が信任された。

退任役員と新会長として信任を受けた小石会長があいさつを行った。続いてスローガン採択を下嶽議長、大会宣言（案）を本多副事務局長が提案し、いずれも全会一致で承認され、明石副会長の閉会あいさつのあと、小石会長の団結ガンパローで第22回定期大会を終了した。



異議なし



第9回フォトコンテスト表彰（最優秀賞：西中須さん）

質 問 者



自治労 黒崎代議員



全駐労 吉田代議員

来賓あいさつ



連合本部 松永組織対策局長



長崎県 中村知事



長崎県労働基準部 上村部長



長崎市 田上市長



民主党長崎県連 橋本副代表



社民党長崎県連合 吉村代表

退任役員



入江会計監査
〈交通労連〉



長石執行委員
〈自治労連〉



森田副事務局長
〈自治労〉



谷頭副事務局長
〈基幹労連〉

2011年度連合長崎執行体制・事務局担当業務

役 職		氏 名		組 織 名	産別担当	地域担当
会 長	専 従	小石 隆		情報労連	全 般	全 般
副 会 長	非専従	近藤 富彦	新	自治労	官 公	大 東
		江口 茂広		基幹労連	金 属	佐 世 保
		田端 康弘		電力総連	通・動・エネルギー	壱岐・対馬
		渡邊 昭吉		UIゼンセン同盟	製造・商・サービス	諫早・島原
		岩永 洋一		J P 労組	交通・運輸	長 崎
		宮崎 辰弥	新	情報労連	通・動・エネルギー	五島・上五島
事務局長	専 従	森 光一		基幹労連	全 般	全 般
副事務局長	専 従	松井 利明	新	自治労	官 公	大東・五島・上五島
		入江 良美	新	交通労連	交通・運輸	壱岐・対馬
		浦本 和明		基幹労連(佐世保地協)	金 属	佐 世 保
		佐竹 明彦		自治労	製造・商・サービス	諫早・島原
		本多 毅		電力総連(長崎地協)	通・動・エネルギー	長 崎
執 行 委 員	非専従	松尾 悟	新	サービス・流通連合		
		関山 明彦		自動車総連		
		明石 佳成		日教組		
		益満 政彦		電機連合		
		野原 秀昭		交通労連		
		太田 清		運輸労連		
		藤澤 恒昌		全駐労		
		牧添 正信		海員組合		
		富永 一夫		都市交		
		山田 允哉		自治労連		
		酒井 啓介	私鉄総連			
		寺田 未人	全自交労連			
		嶋 三郎	国公総連			
		江副 敏彦	J R 連合			
		岩永 財	全国ガス			
		嵩 靖文	長崎私交通	新		
		峰 義彦	長崎地協	新		
		菊永 昌和	佐世保地協			
		岩口 修	大東地協			
		東 隆司	諫早地協			
(森 優子)	女性 (J P 労組)					
(諸江美智子)	女性 (自治労)					
会 計 監 査	非専従	大田 吉弘	新	日教組		
		川田 隆往		電機連合		
		倉田 昌明		都市交		



アジア・アフリカ支援米・各地協で稲刈り実施！

春に田植えを行った各地域協議会は、10月に稲刈り作業を行いました。地協ごとに食事会等のイベントを盛り込み、秋の一日、楽しい汗を流しました。

収穫された支援米は、来春3月に支援先に発送予定です。各地協の皆様のご協力ありがとうございました。



佐世保地協



諫早地協



島原地協



五島地協

長退連グラウンドゴルフ大会開催！

10月13日（水）長退連グラウンドゴルフ大会が三菱球場で開催されました。

109名が参加し、白熱した熱戦が展開され、優勝は県友会の園田利久さん、準優勝は同じく県友会の

石嶋 強さん、3位は三菱電器OB会の外園二四郎さんが獲得されました。協議終了後は交流会も実施され、参加者は交流を深められ楽しい1日となりました。



真剣勝負



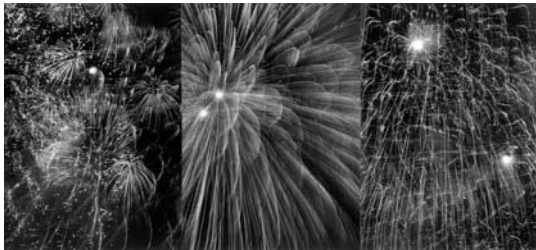
優勝した園田氏（県友会）へ長退連・川村会長から記念品の贈呈



第9回フォトコンテスト入賞作品の紹介

2010年9月18日に島原市で第9回フォトコンテストの審査を行い、最優秀賞に選ばれた西中須盈(自治労: 全国一般)「花火(組写真)」さんの表彰を連合長崎第22回定期大会で行いました。また、定期大会会場にはその他皆さんの入賞作品も展示しました。

最優秀賞



「花火(組写真)」

西中須 盈さん
(自治労: 全国一般)

優秀賞



「ハタタテシノビハゼ」
作元 順子さん
(自治労: 県職家族)



「ボン灯ろう祭り」

西野 彰晃さん
(佐世保重工労組OB)

連合会長賞



「ハプニング」

高島 勝由さん
(佐世保重工労組OB)

花・植物・生物



「ケンカ中によ」
本郷 公嗣さん
(N-T 労組家族)

人物



「ひよっところ踊り」

森田 正巳さん
(三菱重工労組OB)

風景



「田んぼのシンクロ」

楠本 咲子さん
(自治労連家族)

その他



「白船だっ！」

松尾 泉さん
(自治労: 県職OB)

入 選



「干柿の里」
楠本 邦博さん
(自治労連OB)



「春日」
左村 博志さん
(西肥自動車労組OB)



「ウエルカム長崎」
山口 哲男さん
(県タク：観光OB)



「乗鞍登山の一息」
吉岡 正明さん
(J-P労組：島原)



「新園児の集合写真」
松岡 保晴さん
(大島造船労組OB)



「遠藤周作文学館から
見える海で」
松本 剛さん
(三菱設計労組)



「視線の向こうは」
中嶋 高繁さん
(佐世保重工労組)



「マイカーで」
長浦 敏雄さん
(佐世保重工労組OB)



「我が子を
想いながら」
古川 浩明さん
(三菱重工労組)



「我が子を
想いながら」
古川 浩明さん
(三菱重工労組)



「水族館のアイドル」
綱 純子さん
(三菱重工労組家族)



「雨のオランダ坂」
高井 正則さん
(三菱重工労組)



「勇士の背中」
若杉 伴哉さん
(三菱重工労組)



「光の川」
長谷川正実さん
(三菱重工労組)



「夏休み」
山下 剛さん
(三菱重工労組)